



シスコエクスプレスフォワーディングコマンド

この章では、NCS 5000 ルータでシスコエクスプレス フォワーディング（CEF）を設定したりモニタする際に使用するコマンドについて説明します。

CEF の概念、設定作業、および例の詳細については、『*Cisco IP Addresses and Services Configuration Guide*』を参照してください。

- [clear cef ipv4 drops, 3 ページ](#)
- [clear cef ipv4 exceptions, 5 ページ](#)
- [clear cef ipv6 drops, 7 ページ](#)
- [clear cef ipv6 exceptions, 9 ページ](#)
- [show adjacency, 11 ページ](#)
- [show cef, 14 ページ](#)
- [show cef ipv4, 16 ページ](#)
- [show cef ipv4 adjacency, 18 ページ](#)
- [show cef ipv4 drops, 21 ページ](#)
- [show cef ipv4 hardware, 24 ページ](#)
- [show cef ipv4 exact-route, 27 ページ](#)
- [show cef ipv4 exceptions, 29 ページ](#)
- [show cef ipv4 resource, 31 ページ](#)
- [show cef ipv4 summary, 33 ページ](#)
- [show cef ipv4 unresolved, 36 ページ](#)
- [show cef ipv6, 38 ページ](#)
- [show cef ipv6 adjacency, 42 ページ](#)

- [show cef ipv6 adjacency hardware, 46 ページ](#)
- [show cef ipv6 drops, 49 ページ](#)
- [show cef ipv6 exact-route, 52 ページ](#)
- [show cef ipv6 exceptions, 55 ページ](#)
- [show cef ipv6 hardware, 57 ページ](#)
- [show cef ipv6 interface, 59 ページ](#)
- [show cef ipv6 resource, 62 ページ](#)
- [show cef ipv6 summary, 64 ページ](#)
- [show cef ipv6 unresolved, 66 ページ](#)
- [show cef mpls adjacency, 68 ページ](#)
- [show cef mpls adjacency hardware, 71 ページ](#)
- [show cef mpls interface, 73 ページ](#)
- [show cef mpls unresolved, 76 ページ](#)
- [show cef summary, 78 ページ](#)

clear cef ipv4 drops

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv4 パケット ドロップ カウンタをクリアするには、`clear cef ipv4 drops` コマンドを使用します。

`clear cef ipv4 drops location node-id`

構文の説明

location <i>node-id</i>	指定されたノードの IPv4 パケット ドロップ カウンタをクリアします。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
--------------------------------	---

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードのみ IPv4 CEF ドロップ カウンタがクリアされます。

タスク ID

タスク ID	動作
basic-services	読み取り、書き込み
cef	読み取り、書き込み

例

次の例は、IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルパケット ドロップ カウンタの出力を表示し、ロケーション 0/RP0/CPU0 の IPv4 CEF ドロップ カウンタをクリアします。

```
RP/0/# show cef ipv4 drops
```

clear cef ipv4 drops

```
CEF Drop Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
  Unresolved drops      packets :           0
  Unsupported drops     packets :           61
  Null0 drops          packets :           0
  No route drops       packets :          74026
  No Adjacency drops   packets :           0
  Checksum error drops packets :           0
  RPF drops            packets :           0
  RPF suppressed drops packets :           0
  RP destined drops    packets :           0
  Discard drops        packets :           0
  GRE lookup drops     packets :           0
  GRE processing drops packets :           0
  LISP punt drops      packets :           0
  LISP encap err drops packets :           0
  LISP decap err drops packets :           0
```

```
RP/0/# clear cef ipv4 drops location 0/RP0/CPU0
```

```
Node: 0/RP0/CPU0
Clearing CEF Drop Statistics
```

clear cef ipv4 exceptions

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) 例外パケット カウンタをクリアするには、モードで **clear cef ipv4 exceptions** コマンドを使用します。

clear cef ipv4 exceptions location node-id

構文の説明

location*node-id* 指定されたノードの IPv4 CEF 例外パケット カウンタをクリアします。
node-id 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、すべてのノードの IPv4 CEF 例外パケット カウンタがクリアされます。

タスク ID

タスク ID	動作
basic-services	読み取り、書き込み
cef	読み取り、書き込み

例

次の例は、IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) 例外パケット カウンタの出力を表示し、ノード 0/RP0/CPU0 の IPv4 CEF 例外パケット カウンタをクリアします。

```
RP/0/# show cef ipv4 exceptions
```

clear cef ipv4 exceptions

```
CEF Exception Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
  Slow encap packets :           0
  Unsupported packets :           0
  Redirect packets :             0
  Receive packets :             0
  Broadcast packets :            0
  IP options packets :           0
  TTL expired packets :          0
  Fragmented packets :           0

RP/0/# clear cef ipv4 exceptions location 0/RP0/CPU0

Node: 0/RP0/CPU0
Clearing CEF Exception Statistics
```

clear cef ipv6 drops

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv6 パケット ドロップ カウンタをクリアするには、`clear cef ipv6 drop` コマンドを使用します。

clear cef ipv6 drops location *node-id*

構文の説明

location*node-id* 指定されたノードの IPv6 パケット ドロップ カウンタをクリアします。
node-id 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、すべてのノードの IPv6 CEF ドロップ カウンタがクリアされます。

タスク ID

タスク ID	動作
basic-services	読み取り、書き込み
cef	読み取り、書き込み

例

次の例は、IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブル パケット ドロップ カウンタの出力を表示し、ロケーション 0/RP0/CPU0 の IPv6 CEF ドロップ カウンタをクリアします。

```
RP/0/# show cef ipv6 drops
```

clear cef ipv6 drops

```
CEF Drop Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
  Unresolved drops      packets :      0
  Unsupported drops     packets :      0
  Null0 drops           packets :      0
  No route drops        packets :      0
  No Adjacency drops    packets :      0
  Checksum error drops  packets :      0
  RPF drops             packets :      0
  RPF suppressed drops  packets :      0
  RP destined drops     packets :      0
  Discard drops         packets :      0
  GRE lookup drops      packets :      0
  GRE processing drops  packets :      0
  LISP punt drops       packets :      0
  LISP encap err drops  packets :      0
  LISP decap err drops  packets :      0
```

```
RP/0/# clear cef ipv6 drop
```

```
Node: 0/RP0/CPU0
Clearing CEF Drop Statistics
```


clear cef ipv6 exceptions

IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) 例外パケット カウンタをクリアするには、`clear cef ipv6 exceptions` コマンドを使用します。

`clear cef ipv6 exceptions location node-id`

構文の説明

location*node-id* 指定されたノードの IPv6 CEF 例外パケット カウンタをクリアします。
node-id 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、すべてのノードの IPv6 CEF 例外パケット カウンタがクリアされます。

タスク ID

タスク ID	動作
basic-services	読み取り、書き込み
cef	読み取り、書き込み

例

次に、IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) 例外パケット カウンタの出力例、および次のロケーションの IPv6 CEF 例外パケットをクリアする例を示します。

```
RP/0/# show cef ipv6 exceptions
```

clear cef ipv6 exceptions

```
CEF Exception Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
  Slow encap packets :           0
  Unsupported packets :           0
  Redirect packets :             0
  Receive packets :             0
  Broadcast packets :           0
  IP options packets :           0
  TTL expired packets :          0
  Fragmented packets :           0

RP/0/# clear cef ipv6 exceptions location 0/RP0/CPU0

Node: 0/RP0/CPU0
Clearing CEF Exception Statistics
```

show adjacency

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) 隣接関係テーブル情報を表示するには、**show adjacency** コマンドを使用します。

```
show adjacency [ipv4 [nexthop ipv4-address]] mpls| ipv6] [interface type interface-instance] [remote] [detail] [location node-id]
```

構文の説明

ipv4	(任意) IPv4 隣接だけを表示します。
nexthop <i>ipv4-address</i>	(任意) 指定された IPv4 ネクストホップに送信される隣接を表示します。
mpls	(任意) MPLS 隣接だけを表示します。
ipv6	(任意) IPv6 隣接だけを表示します。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>interface-instance</i>	<p>物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 物理インターフェイス インスタンス。命名規則は、<i>rack/slot/module/port</i> です。値と値の間には、表記の一部としてスラッシュ マークが必須です。 <ul style="list-style-type: none"> ◦ <i>rack</i> : ラックのシャーシ番号。 ◦ <i>slot</i> : ラインカードの物理スロット番号。 ◦ <i>module</i> : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。 ◦ <i>port</i> : インターフェイスの物理ポート番号。 • 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。 <p>ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンラインヘルプを参照してください。</p>
remote	(任意) リモート隣接だけを表示します。リモート隣接は、ラインカード間のパケット転送に使用される内部隣接です。
detail	(任意) レイヤ 2 情報など、隣接の詳細情報を表示します。

location*node-id* (任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。*node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、接続デバイスに隣接が存在するかどうか、その隣接が有効かどうか、MAC ヘッダー書き換えストリングが正しいかどうかの検証に使用されます。

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの CEF 隣接関係テーブルが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**location** キーワードを指定した場合の **show adjacency** コマンドの出力を示しています。次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 1 : **show adjacency** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Interface	隣接に関連付けられている発信インターフェイス。

フィールド	説明
Address	Address は、次のいずれかのアドレスです。 <ul style="list-style-type: none">• ネクストホップ IPv4 または IPv6 アドレス• Point-to-Point アドレス 括弧内の情報は、別のタイプの隣接を示します。
Version	隣接のバージョン番号。隣接が更新されると更新されます。
RefCount	この隣接のリファレンス番号。
Protocol	隣接が関連付けられるプロトコル。
0f000800 および 000c86f33d330800453a21c10800	レイヤ 2 カプセル化ストリング。
mtu	最大伝送ユニット (MTU) の値。
flags	内部フィールド。
packets	隣接を通過するパケット数。
bytes	隣接を通過するバイト数。

show cef

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) により転送されるパケットの情報を表示するには、`show cef` コマンドを使用します。

`show cef [prefix [mask]] [hardware {egress| ingress}| detail] [location {node-id| all}]`

構文の説明

<code>prefix</code>	(任意) 指定された IPv4 送信先プレフィックスの最長一致 CEF エントリ。
<code>mask</code>	(任意) 指定された IPv4 プレフィックスおよびマスクの正確な CEF エントリ。
<code>hardware</code>	(任意) ハードウェアの詳細情報を表示します。
<code>egress</code>	出力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
<code>ingress</code>	入力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
<code>detail</code>	(任意) 詳細情報を表示します。
<code>location node-id</code>	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <code>node-id</code> 引数は、 <code>rack/slot/module</code> の形式で入力します。
<code>all</code>	(任意) すべてのロケーションを表示します。

コマンド デフォルト

プレフィックスが明示的に指定されていない場合、このコマンドは、CEF に存在するすべての IPv4 プレフィックスを表示します。指定されていない場合、`location` は、デフォルトでアクティブなルート プロセッサ (RP) ノードになります。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID

動作

cef

読み取り

例

次の例は、**hardware** と **ingress** キーワードの両方を指定した場合の **show cef** コマンドのロード情報フラグの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef 101.1.3.0/24 hardware ingress location 0/RP0/CPU0
101.1.3.0/24, version 0, internal 0x40000001 (0x598491e8) [1], 0x0 (0x0),
(0x0)
  local adjacency 10.0.101.2
  Prefix Len 24, traffic index 0, precedence routine (0)
  BGP Attribute: id: 8, Local id: 6, Origin AS: 1003, Next Hop AS: 4

  via 10.0.101.2, 2 dependencies, recursive
  next hop 10.0.101.2 via 10.0.101.2/32

Number of Mnodes: 2
Mnode 0 HW Location: 0x00080404 HW Value
[ 0x00081a600 00000000 00000000 00000000 ]

Leaf Mnode 1 HW Location: 0x040d3030
Hardware Leaf: PLU Leaf Value
[ 0x8000d800 028842c6 00000000 1fff2000 ]

FCR 2 TLU Address 0x00210b19 TI 0 AS 6

VPN Label 1 0

***** IGP LoadInfo *****
Loadinfo HW Max Index 0
Loadinfo SW Max Index 0
PBTS Loadinfo Attached: No
LI Path [ 0] HFA Info: 0x10204028 FCR: 4
*****

-----
HW Rx Adjacency 0 Detail:
-----
Rx Adj HW Address 0x02040280 (ADJ)
packets 0 bytes 0
HFA Bits 0x80 gp 16 mtu 9248 (Fabric MTU) TAG length 0
OI 0x409 (Tx uidb 0 PPindex 1033)
OutputQ 0 Output-port 0x0 local-outputq 0x8000

[ 0x80181040 00002420 00000409 00008000 ]
[ 0x00000000 00000000 00000000 00000000 ]
[ 0x00000000 00000000 00000000 00000000 ]
```

show cef ipv4

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルの情報を表示するには、**show cef ipv4** コマンドを使用します。

show cef ipv4 [*prefix* [*mask*]] *interface-type interface-instance* [**detail**] [**location node-id**]

構文の説明

<i>prefix</i>	(任意) 指定された IPv4 送信先プレフィックスの最長一致 CEF エントリ。
<i>mask</i>	(任意) 指定された IPv4 プレフィックスおよびマスクの正確な CEF エントリ。
<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>interface-instance</i>	物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> 物理インターフェイス インスタンス。命名規則は、<i>rack/slot/module/port</i> です。値と値の間には、表記の一部としてスラッシュ マークが必須です。 <ul style="list-style-type: none"> <i>rack</i> : ラックのシャーシ番号。 <i>slot</i> : ラインカードの物理スロット番号。 <i>module</i> : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。 <i>port</i> : インターフェイスの物理ポート番号。 (注) ルートプロセッサカード上の管理イーサネットインターフェイスを参照する場合、物理スロット番号は英数字 (RSP0) であり、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RSP0/CPU0/0 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。 <p>ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンライン ヘルプを参照してください。</p>
detail	(任意) CEF エントリの詳細情報を表示します。
locationnode-id	(任意) 指定されたノードの IPv4 CEF テーブルを表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

location が指定されていない場合、デフォルトで RP ノードが使用されます。

コマンドモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの CEF テーブルが表示されます。これらが指定されている場合、このコマンドは、**locationnode-id** キーワードおよび引数で指定されたノードで機能します。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**showcefipv4** コマンドの出力を示しています。

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 2: **show cef ipv4** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Prefix	IPv4 CEF テーブルのプレフィックス
Next Hop	プレフィックスのネクスト ホップ
Interface	プレフィックスに関連付けられているインターフェイス

show cef ipv4 adjacency

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv4 隣接ステータスと設定情報を表示するには、`show cef ipv4 adjacency` コマンドを使用します。

show cef ipv4 adjacency [*interface-type interface-path-id*] [**location node-id**] [**detail**] [**discard**] [**glean**] [**null**] [**punt**] [**remote**] [**protected**]

構文の説明

<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>interface-path-id</i>	(任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスのいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> 物理インターフェイス インスタンス。命名規則は、<i>rack/slot/module/port</i> です。値と値の間には、表記の一部としてスラッシュ マークが必須です。 <ul style="list-style-type: none"> <i>rack</i> : ラックのシャーシ番号。 <i>slot</i> : ラインカードの物理スロット番号。 <i>module</i> : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。 <i>port</i> : インターフェイスの物理ポート番号。 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。 <p>ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンラインヘルプを参照してください。</p>
location <i>node-id</i>	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
detail	(任意) 隣接の詳細情報を表示します。
discard	(任意) 廃棄された隣接情報だけをフィルタリングして表示します。
glean	(任意) glean 隣接情報だけをフィルタリングして表示します。
null	(任意) 隣接情報だけをフィルタリングして表示します。
punt	(任意) パント隣接情報だけをフィルタリングして表示します。

remote	(任意) リモート隣接情報だけをフィルタリングして表示します。
protected	(任意) IP-Fast Reroute (FRR) 保護された隣接情報だけをフィルタリングして表示します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **location** キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、**show cef ipv4 adjacency** をコマンドを発行したノードの CEF 隣接関係テーブルが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例 次の例は、**show cef ipv4 adjacency** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/:# show cef ipv4 adjacency tenGigE 0/0/0/0

Display protocol is ipv4
Interface      Address                               Type      Refcount
Mg0/RSP0/CPU0/0Prefix: 10.25.0.3/32                local      2
Adjacency: PT:0x782a2900 12.25.0.3/32
Interface: Mg0/RSP0/CPU0/0
MAC: 00.d0.02.75.ab.fd.00.11.93.ef.e3.50.08.00
Interface Type: 0x8, Base Flags: 0x1
Dependent adj type: remote
Dependent adj intf: Mg0/RSP0/CPU0/0
Mg0/RSP0/CPU0/0Prefix: 10.24.0.32/32                remote     6
Adjacency: PT:0x782a2b58
Interface: Mg0/RSP0/CPU0/0
MAC: 28.4e.4f.4e.45.29
Interface Type: 0x8, Base Flags: 0x0
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 3 : *show cef ipv4 adjacency* コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Interface	プレフィックスに関連付けられているインターフェイス
Address	プレフィックス アドレス情報。
Type	隣接のタイプ。ローカルまたはリモートのいずれかです。
RefCount	他のルータにより隣接が参照される回数。

show cef ipv4 drops

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブル パケット ドロップ カウンタを表示するには、で **show cefipv4 drops** コマンドを使用します。

show cef ipv4 drops [*location node-id*]

構文の説明

location*node-id* (任意) 指定されたノードの IPv4 CEF テーブル パケット ドロップ カウンタを表示します。*node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

CEF エントリが解決されていない、機能がサポートされていない、ルート情報がない、隣接情報がない、または IP チェックサム エラーが発生したために、パケットが IPv4 CEF テーブルからドロップされた可能性があります。

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、すべてのノードの IPv4 CEF パケット ドロップ カウンタが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、ロケーション コマンドの **show cef ipv4drops** の出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv4 drops
```

show cef ipv4 drops

```

CEF Drop Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
  Unresolved drops    packets :           0
  Unsupported drops   packets :          61
  Null0 drops         packets :           0
  No route drops      packets :       74026
  No Adjacency drops  packets :           0
  Checksum error drops packets :           0
  RPF drops           packets :           0
  RPF suppressed drops packets :           0
  RP destined drops   packets :           0
  Discard drops       packets :           0
  GRE lookup drops    packets :           0
  GRE processing drops packets :           0
  LISP punt drops     packets :           0
  LISP encap err drops packets :           0
  LISP decap err drops packets :           0

```

表 4 : show cef ipv4 drop コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Unresolved drops	未解決ルートによるドロップ
Unsupported drops	サポートされていない機能によるドロップ
Null0 drops	Null0 インターフェイスへのドロップ
No route drops	宛先へのルートがなかったためにドロップされたパケット数
No Adjacency drops	隣接が確立されていなかったためにドロップされたパケット数
Checksum error drops	IPv4 チェックサム エラーによるドロップ
RPF drops	IPv4 ユニキャスト RPF ¹ に起因するドロップ。
RPF suppressed drops	IPv4 ユニキャスト RPF により抑制されたドロップ
RP destined drops	ルータへのドロップ
Discard drops	破棄されたドロップ
GRE lookup drops	GRE ルックアップ中にドロップされた GRE パケット。
GRE processing drops	GRE の処理中にドロップされた GRE パケット。
LISP punt drops	パケットのソフトウェア処理中にドロップされた LISP パケット。

フィールド	説明
LISP encap err drops	エラーのためにドロップされた LISP カプセル化パケット。
LISP decap err drops	エラーのためにドロップされた LISP カプセル化解除パケット。

¹ RPF = リバース パス フォワーディング

show cef ipv4 hardware

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv4 ハードウェア ステータスおよび設定情報を表示するには、XR EXEC モードで **show cef ipv4 hardware** コマンドを使用します。

show cef [*vrf vrf-name*] **ipv4 hardware** {*egress*|*ingress* [*detail*|*location node-id*]}

構文の説明

vrf	(任意) VPN ルーティング/転送 (VRF) インスタンス情報を表示します。
vrf-name	(任意) VRF の名前。
egress	出力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
ingress	入力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
detail	(任意) 詳細情報を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

XR EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv4 hardware** コマンドの出力を示しています。

```

RP/0/# sh cef ipv4 hardware egress

Prefix                Next Hop                Interface
-----
0.0.0.0/0             7.35.0.1/32            <recursive>
0.0.0.0/32           broadcast
5.5.5.1/32           receive                Loopback0
7.35.0.0/16          attached              MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.0/32           broadcast              MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.1/32          7.35.0.1/32           MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.2/32          7.35.0.2/32           MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.3/32          7.35.0.3/32           MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.5/32          7.35.0.5/32           MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.6/32          7.35.0.6/32           MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.56/32         7.35.0.56/32          MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.0.245/32        7.35.0.245/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.10.38/32        7.35.10.38/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.10.44/32        7.35.10.44/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.10.47/32        receive                MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.10.74/32        7.35.10.74/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.10.113/32       7.35.10.113/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.11.22/32        7.35.11.22/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.11.27/32        7.35.11.27/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.11.32/32        7.35.11.32/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.11.78/32        7.35.11.78/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.11.111/32       7.35.11.111/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.11.112/32       7.35.11.112/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.12.11/32        7.35.12.11/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.12.23/32        7.35.12.23/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.12.24/32        7.35.12.24/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.12.29/32        7.35.12.29/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.12.30/32        7.35.12.30/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.12.44/32        7.35.12.44/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.83/32        7.35.15.83/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.84/32        7.35.15.84/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.86/32        7.35.15.86/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.92/32        7.35.15.92/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.93/32        7.35.15.93/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.95/32        7.35.15.95/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.96/32        7.35.15.96/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.97/32        7.35.15.97/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.98/32        7.35.15.98/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.103/32       7.35.15.103/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.119/32       7.35.15.119/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.123/32       7.35.15.123/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.133/32       7.35.15.133/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.173/32       7.35.15.173/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.175/32       7.35.15.175/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.178/32       7.35.15.178/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.179/32       7.35.15.179/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.15.188/32       7.35.15.188/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.124/32       7.35.19.124/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.127/32       7.35.19.127/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.180/32       7.35.19.180/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.181/32       7.35.19.181/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.182/32       7.35.19.182/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.183/32       7.35.19.183/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.201/32       7.35.19.201/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.19.205/32       7.35.19.205/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.20.157/32       7.35.20.157/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.21.156/32       7.35.21.156/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.21.212/32       7.35.21.212/32        MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.23.59/32        7.35.23.59/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.48/32        7.35.25.48/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.77/32        7.35.25.77/32         MgmtEth0/RP0/CPU0/0

```

show cef ipv4 hardware

```
7.35.25.100/32      7.35.25.100/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.101/32      7.35.25.101/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.102/32      7.35.25.102/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.107/32      7.35.25.107/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.148/32      7.35.25.148/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.198/32      7.35.25.198/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.210/32      7.35.25.210/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.223/32      7.35.25.223/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.232/32      7.35.25.232/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.25.233/32      7.35.25.233/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.26.107/32      7.35.26.107/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.26.188/32      7.35.26.188/32      MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.49.94/32       7.35.49.94/32       MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.104.155/32     7.35.104.155/32     MgmtEth0/RP0/CPU0/0
7.35.255.255/32     broadcast             MgmtEth0/RP0/CPU0/0
202.153.144.25/32  7.35.0.1/32          MgmtEth0/RP0/CPU0/0
224.0.0.0/4         0.0.0.0/32           MgmtEth0/RP0/CPU0/0
224.0.0.0/24        receive
255.255.255.255/32 broadcast
```

show cef ipv4 exact-route

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) の正確なルートを表示するには、で **show cefipv4 exact-route** コマンドを使用します。

```
show cefipv4 exact-route {source-address destination-address} [protocol protocol-name]
[source-ports source-port] [destination-port destination-port] [ingress-interface type
interface-path-id] [policy-class-value] [detail | location node-id]
```

構文の説明

<i>source-address</i>	x.x.x.x フォーマットの IPv4 送信元アドレス。
<i>destination-address</i>	x.x.x.x フォーマットの IPv4 宛先アドレス。
protocol <i>protocolname</i>	(任意) 指定したルートのプロトコルを表示します。
source-ports <i>source-port</i>	(任意) UDP 送信元ポートを設定します。範囲は 0 ~ 65535 です。
destination-port <i>destination-port</i>	(任意) UDP 宛先ポートを設定します。範囲は 0 ~ 65535 です。
ingress-interface	(任意) 入力インターフェイスを設定します。
<i>type</i>	(任意) インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>interface-path-id</i>	物理インターフェイスまたは仮想インターフェイス。 (注) ルータに現在設定されているすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 show interfaces コマンドを使用します。 ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンラインヘルプを参照してください。
policy-class <i>value</i>	(任意) ポリシーベースのトンネル選択のクラスを表示します。トンネルポリシー クラスの値の範囲は 1 ~ 7 です。
detail	(任意) CEF エントリの詳細情報を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) 指定されたノードの IPv4 CEF テーブルを表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

レイヤ 4 情報がイネーブルの場合、source-port、destination-port、ingress-interface、および protocol フィールドは必須です。これらのフィールドを指定しない場合、**show cef ipv4 exact-route** コマンドは正確な結果を出力しません。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv4 exact-route** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv4 exact-route 10.1.1.1 10.1.1.2 detail
0.0.0.0/0, version 432, proxy default, internal 0x2000201[1]
  Prefix Len 0, traffic index 0, precedence routine (0)
  via tenGigE0/RSP0RP1/CPU0/0
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 5 : **show cef ipv4 exact-route** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Prefix	IPv4 CEF テーブルのプレフィックス
Next Hop	プレフィックスのネクスト ホップ
Interface	プレフィックスに関連付けられているインターフェイス

show cef ipv4 exceptions

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) 例外パケット カウンタを表示するには、**show cef ipv4 exceptions** コマンドを使用します。

show cef ipv4 exceptions [location node-id]

構文の説明

location*node-id* (任意) 指定されたノードの CEF 例外パケット カウンタを表示します。
node-id 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

CEF 例外パケットは、追加の処理が必要なためにハードウェアからソフトウェアに送信されたパケットです。IPv4 CEF 例外パケットのタイプは、コマンドの出力に表示され、定義されます。

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、すべてのノードの IPv4 CEF 例外パケット カウンタが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv4 exceptions** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv4 exceptions
CEF Exception Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
```

show cef ipv4 exceptions

```

Slow encap packets :          0
Unsupported packets :        0
Redirect packets :           0
Receive packets :           0
Broadcast packets :          0
IP options packets :         0
TTL expired packets :        0
Fragmented packets :         0

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 6 : *show cef ipv4 exceptions* コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Slow encap	カプセル化中に特殊な処理を必要とするパケット数
Redirect	送信された ICMP ² リダイレクトメッセージの数。
Receive	ルータに送信されるパケット数
Broadcast	受信したブロードキャスト数。
IP options	IP オプションパケット数
TTL expired	TTL ³ が期限切れのパケットの数。
Fragmented	フラグメントされたパケット数

² ICMP = インターネット制御メッセージプロトコル

³ TTL = 存続可能時間

show cef ipv4 resource

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルの IPv4 非再帰的プレフィックス エントリを表示するには、で **show cef ipv4 resource** コマンドを使用します。

show cef ipv4 resource [detail] [hardware {egress| ingress}] [location node-id]

構文の説明

detail	(任意) IPv4 CEF テーブルにリストされているリソースの詳細情報を表示します。
hardware	(任意) ハードウェアの詳細情報を表示します。
egress	(任意) 出力パケット スイッチ交換 (PSE) を表示します。
ingress	(任意) 入力パケット スイッチ交換 (PSE) を表示します。
location node-id	(任意) 指定されたノードの IPv4 CEF テーブルの IPv4 リソース エントリを表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの IPv4 CEF 非再帰的ルートが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv4 resource** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv4 resource detail

CEF resource availability summary state: GREEN
  ipv4 shared memory resource:
    CurrMode GREEN, CurrUtil 0%
    CurrAvail 1874526208 bytes, MaxAvail 1875693568 bytes
  ipv6 shared memory resource:
    CurrMode GREEN, CurrUtil 0%
    CurrAvail 1874591744 bytes, MaxAvail 1875365888 bytes
  mpls shared memory resource:
    CurrMode GREEN, CurrUtil 0%
    CurrAvail 1874407424 bytes, MaxAvail 1875038208 bytes
  common shared memory resource:
    CurrMode GREEN, CurrUtil 0%
    CurrAvail 1873215488 bytes, MaxAvail 1874972672 bytes
  TABLE hardware resource: GREEN
  LEAF hardware resource: GREEN
  LOADINFO hardware resource: GREEN
  NHINFO hardware resource: GREEN
  LABEL_INFO hardware resource: GREEN
  IDB hardware resource: GREEN
  FRR_NHINFO hardware resource: GREEN
  LDSH_ARRAY hardware resource: GREEN
  RSRC_MON hardware resource: GREEN
```


show cef ipv4 summary

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルのサマリーを表示するには、**show cef ipv4 summary** コマンドを使用します。

show cef ipv4 summary [*location node-id*]

構文の説明

location*node-id* (任意) 指定されたノードの IPv4 CEF テーブルのサマリー情報を表示します。*node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの IPv4 CEF テーブルのサマリーが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv4 summary** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv4 summary
Router ID is
10
0
.0.0.0

IP CEF with switching (Table Version 0)
```

show cef ipv4 summary

```

Load balancing: L3
Tableid 0xe0000000, Vrfid 0x60000000, Vrid 0x20000000, Flags 0x301
Vrfname default, Refcount 367
193 routes, 0 reresolve, 0 unresolved (0 old, 0 new), 13896 bytes
204 load sharing elements, 51904 bytes, 154 references
17 shared load sharing elements, 5536 bytes
187 exclusive load sharing elements, 46368 bytes
0 CEF route update drops, 175 revisions of existing leaves
Resolution Timer: 15s
0 prefixes modified in place
0 deleted stale prefixes
16 prefixes with label imposition, 51 prefixes with label information
Adjacency Table has 44 adjacencies
1 incomplete adjacency

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 7: show cef ipv4 summary コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Load balancing	現在のロードバランシングモード。デフォルト値は L3 です。
Table Version	CEF テーブルのバージョン。
tableid	テーブル ID 番号。
vrfid	VPN ルーティング/転送 (VRF) ID (vrfid) 番号。
vrfname	VRF 名。
vrid	仮想ルータ ID (vrid) 番号。
flags	テーブルのオプション値。
routes	ルートの合計数。
reresolve	再解決されるルートの合計数。
unresolved (x old, x new)	未解決のルートの合計数。
load sharing elements	内部ロードシェアリングデータ構造の合計数。
bytes	内部ロードシェアリングデータ構造で使われる合計メモリ。
references	すべての内部ロードシェアリングデータ構造の合計リファレンスカウント数。
CEF resets	CEF テーブルリセット数。

フィールド	説明
revisions of existing leaves	既存のプレフィックスへの更新数。
Exponential (currently <i>xs</i> , peak <i>xs</i>)	現在使用されていません。
prefixes modified in place	正しく修正されたプレフィックス。
Adjacency Table has <i>x</i> adjacencies	合計隣接数。
<i>x</i> incomplete adjacency	未完了の隣接の合計数。

show cef ipv4 unresolved

IPv4 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルの未解決ルートを表示するには、`show cef ipv4 unresolved` コマンドを使用します。

`show cef ipv4 unresolved [detail] [hardware {egress| ingress}] [location node-id]`

構文の説明

detail	(任意) IPv4 CEF テーブルにリストされている未解決ルートの詳細情報を表示します。
hardware	(任意) ハードウェアの詳細情報を表示します。
egress	(任意) 出力パケット スイッチ交換 (PSE) を表示します。
ingress	(任意) 入力パケット スイッチ交換 (PSE) を表示します。
location node-id	(任意) 指定されたノードの IPv4 CEF テーブルの未解決ルートを表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの未解決ルートが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、未解決ルートを検出する場合の **show cef ipv4 unresolved** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv4 unresolved
Prefix           Next Hop       Interface
10.3.3.3         102.2.2.2     ?
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 8 : **show cef ipv4 unresolved** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Prefix	未解決 CEF のプレフィックス。
Next Hop	未解決 CEF のネクスト ホップ。
Interface	ネクスト ホップ インターフェイス。疑問符 (?) は、インターフェイスが解決されていないことを示します。

show cef ipv6

IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルの情報を表示するには、`show cef ipv6` コマンドを使用します。

show cef]ipv6[*interface-type interface-number* | *ipv6-prefix/ prefix-length*] [**detail**] [**location***node-id*]

構文の説明

<i>interface-type</i> <i>interface-number</i>	(任意) 指定されたネクスト ホップ インターフェイスを通過する IPv6 プレフィックス。
<i>ipv6-prefix/prefix-length</i>	(任意) 指定された IPv6 プレフィックスおよびプレフィックス長と一致する CEF テーブルの最長プレフィックス エントリ。
detail	(任意) IPv6 CEF テーブルの詳細情報を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) 指定されたノードの IPv6 CEF テーブルを表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの IPv6 CEF テーブルが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6

::/0

::/128
  drop
::1/128
  loopback
66::4/128
  receive      Loopback0
2222::/64
  connected   tenGigE0/0/0/4
2222::1/128
  receive     tenGigE0/0/0/4
3333::/64
  connected   tenGigE0/0/0/3
3333::2/128
  receive     tenGigE0/0/0/3
5656::2/128
  recursive   fe80::3031:48ff:fe53:5533, tenGigE0/0/0/3
7777::/64
  connected   tenGigE0/0/0/0
7777::2/128
  receive     tenGigE0/0/0/0
9999::1/128
  recursive   fe80::205:5fff:fe1d:7600, tenGigE0/0/0/4
ff00::/8
  drop
ff02::1/128
  receive
ff02::2/128
  receive
ff02::5/128
  receive
ff02::6/128
  receive
ff02::1:ff00:0/104
  receive
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 9 : **show cef ipv6** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
drop	送信先プレフィックスに送信されるパケットがドロップされることを示します。
loopback	プレフィックスはループバックアドレスを示します。ループバックアドレスに送信されるパケットはドロップされます。
receive	プレフィックスがルーターインターフェイスのいずれかで設定されていることを示します。これらのプレフィックスに送信されるパケットは、ルーターにより受信されます。

フィールド	説明
connected	プレフィックスは、直接接続されているネクストホップ インターフェイスを示します。
recursive	プレフィックスが直接接続されていないが、表示されているネクストホッププレフィックスから到達可能であることを示します。

次の例は、**detail** キーワードを指定した場合の **showcefipv6** の出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 detail

::/0
  flags: source_rib
  Loadinfo owner: <this route>
  fast adj: glean
  path 1:
    flags      :
    next hop   : ::
    interface  :
  tenGigE/0/0/0

::/128
  flags: drop, source_fib
  Loadinfo owner: <this route>
  fast adj: drop
  path 1:
    flags      :
    next hop   : ::
    interface  : <not specified>

::1/128
  flags: loopback, source_fib
  Loadinfo owner: <this route>
  fast adj: loopback
  path 1:
    flags      :
    next hop   : ::
    interface  : <not specified>

66::4/128
  flags: receive, source_rib
  Loadinfo owner: <this route>
  fast adj: receive
  path 1:
    flags      : point-to-point
    next hop   : ::
    interface  : Loopback0
```

次の表で、この出力に表示される重要な出力フィールドを説明します。

表 10 : **show cef ipv6 detail** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
flags:	示されたプレフィックスのプロパティ。

フィールド	説明
Loadinfo owner:	転送のためにプレフィックスにより使用される Loadinfo のオーナー。Loadinfo オーナーは、隣接を示すポインタの配列を所有するプレフィックスです。
fast adj:	転送のために使用される、キャッシュに入った隣接。
path 1:	次の 3 つの項目は、path 1: の下に表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• flags : パスのプロパティ。• next hop : ネクストホッププレフィックス (パケットが転送される場合)。• interface : ネクストホップインターフェイス (パケットが転送される場合)。

show cef ipv6 adjacency

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv6 隣接ステータスと設定情報を表示するには、`show cef ipv6 adjacency` コマンドを使用します。

show cef ipv6 adjacency [*interface-type interface-path-id*] [**location node-id**] [**detail**] [**discard**] [**glean**] [**null**] [**punt**] [**remote**]

構文の説明

interface-type (任意) インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。

interface-path-id (任意) 物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスのいずれかです。

- 物理インターフェイス インスタンス。命名規則は、*rack/slot/module/port* です。値と値の間には、表記の一部としてスラッシュマークが必須です。

- ° *rack* : ラックのシャーシ番号。

- ° *slot* : ラインカードの物理スロット番号。

- ° *module* : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。

- ° *port* : インターフェイスの物理ポート番号。

(注) ルート プロセッサ カード上の管理イーサネット インターフェイスを参照する場合、物理スロット番号は英数字 (RSP0) であり、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RSP0 /CPU0/0

- 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイスタイプによって異なります。

ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンラインヘルプを参照してください。

locationnode-id (任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 *node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

detail (任意) 隣接の詳細情報を表示します。

discard (任意) 廃棄された隣接情報だけをフィルタリングして表示します。

glean (任意) **glean** 隣接情報だけをフィルタリングして表示します。

null (任意) ヌル隣接情報だけをフィルタリングして表示します。

punt	(任意) パント隣接情報だけをフィルタリングして表示します。
remote	(任意) リモート隣接情報だけをフィルタリングして表示します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **location** キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの CEF 隣接関係テーブルが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例 次の例は、**show cef ipv6 adjacency** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 adjacency

Display protocol is ipv6
Interface      Address                                     Type      Refcount
-----
Te0/0/0/9     Interface: Te0/0/0/9 Type: glean
              Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x220 (0x8a796038)
              Nhinfo PT: 0x8a796038, Idb PT: 0x8a3e09a0, If Handle: 0x8000088
              Dependent adj type: remote (0x8c34c238)
              Dependent adj intf: Te0/0/0/9
              Ancestor If Handle: 0x0
Update time   Dec 19 06:43:23.354

Te0/0/0/9     Prefix: 9::2/128                           local     3
              Adjacency: PT:0x88155c18 9::2/128
              Interface: Te0/0/0/9
              NHID: 0x0
              MAC: 10.f3.11.25.39.5b.28.c7.ce.01.ec.20.86.dd
              Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8c39e238)
```

show cef ipv6 adjacency

```

Nhinfo PT: 0x8c39e238, Idb PT: 0x8a3e09a0, If Handle: 0x8000088
Dependent adj type: remote (0x8c34c238)
Dependent adj intf: Te0/0/0/9
Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:44:49.548

Te0/0/0/9 Prefix: fe80::12f3:11ff:fe25:395b/128 local 3
Adjacency: PT:0x881559c8 fe80::12f3:11ff:fe25:395b/128
Interface: Te0/0/0/9
NHID: 0x0
MAC: 10.f3.11.25.39.5b.28.c7.ce.01.ec.20.86.dd
Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8c39e568)
Nhinfo PT: 0x8c39e568, Idb PT: 0x8a3e09a0, If Handle: 0x8000088
Dependent adj type: remote (0x8c34c238)
Dependent adj intf: Te0/0/0/9
Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:44:59.553

Te0/0/0/8 special 2
Interface: Te0/0/0/8 Type: glean
Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x220 (0x8a795ea8)
Nhinfo PT: 0x8a795ea8, Idb PT: 0x8a3e0920, If Handle: 0x8000080
Dependent adj type: remote (0x8c34c0a0)
Dependent adj intf: Te0/0/0/8
Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:43:23.351

Te0/0/0/8 Prefix: 8::2/128 local 3
Adjacency: PT:0x88155e68 8::2/128
Interface: Te0/0/0/8
NHID: 0x0
MAC: 10.f3.11.25.39.5a.28.c7.ce.01.ec.1f.86.dd
Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8c39e0a0)
Nhinfo PT: 0x8c39e0a0, Idb PT: 0x8a3e0920, If Handle: 0x8000080
Dependent adj type: remote (0x8c34c0a0)
Dependent adj intf: Te0/0/0/8
Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:44:46.155

Te0/0/0/8 Prefix: fe80::12f3:11ff:fe25:395a/128 local 3
Adjacency: PT:0x88155d40 fe80::12f3:11ff:fe25:395a/128
Interface: Te0/0/0/8
NHID: 0x0
MAC: 10.f3.11.25.39.5a.28.c7.ce.01.ec.1f.86.dd
Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8c39e3d0)
Nhinfo PT: 0x8c39e3d0, Idb PT: 0x8a3e0920, If Handle: 0x8000080
Dependent adj type: remote (0x8c34c0a0)
Dependent adj intf: Te0/0/0/8
Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:44:56.154

```

次の例は、**show cef ipv6 adjacency remote detail** コマンドの出力を示しています。

```

RP/0/# show cef ipv6 adjacency remote detail location 0/RP0/CPU0

Display protocol is ipv6
Interface Address Type Refcount
Te0/2/0/3 Ifhandle: 0x8000240 remote 2
Adjacency: PT:0xa1bed9e4
Interface: Te0/2/0/3
Interface Type: 0x0, Base Flags: 0x0 (0xa55f3114)
Nhinfo PT: 0xa55f3114, Idb PT: 0xa2d850d8, If Handle: 0x8000240
Ancestor If Handle: 0x0

tt103 Ifhandle: 0x120 remote 1

```

```
no next-hop adj
Interface: NULLIFHNDL
tunnel adjacency
Interface Type: 0x24, Base Flags: 0x200 (0xa61ddc30)
Nhinfo PT: 0xa61ddc30, Idb PT: 0xa2d851d8, If Handle: 0x120
Ancestor If Handle: 0x0

tt2993      Ifhandle: 0xf9a0                      remote 1
no next-hop adj
Interface: NULLIFHNDL
tunnel adjacency
Interface Type: 0x24, Base Flags: 0x200 (0xa65634f0)
Nhinfo PT: 0xa65634f0, Idb PT: 0xa2d94a58, If Handle: 0xf9a0
Ancestor If Handle: 0x0

tt2994      Ifhandle: 0xf9e0                      remote 1
no next-hop adj
Interface: NULLIFHNDL
tunnel adjacency
Interface Type: 0x24, Base Flags: 0x200 (0xa65641e0)
Nhinfo PT: 0xa65641e0, Idb PT: 0xa2d94a98, If Handle: 0xf9e0
Ancestor If Handle: 0x0

tt2995      Ifhandle: 0xfa20                      remote 1
no next-hop adj
Interface: NULLIFHNDL
tunnel adjacency
Interface Type: 0x24, Base Flags: 0x200 (0xa6564350)
Nhinfo PT: 0xa6564350, Idb PT: 0xa2d94ad8, If Handle: 0xfa20
Ancestor If Handle: 0x0
```

show cef ipv6 adjacency hardware

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv6 隣接ハードウェア ステータスおよび設定情報を表示するには、XR EXEC モードで **show cef ipv6 adjacency hardware** コマンドを使用します。

show cef ipv6 adjacency hardware {egress| ingress} [detail| discard| drop| glean| location *node-id*| null| punt| remote]

構文の説明

egress	出力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
ingress	入力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
detail	(任意) 詳細情報を表示します。
discard	(任意) 廃棄隣接情報を表示します。
drop	(任意) ドロップ隣接情報を表示します。
glean	(任意) glean 隣接情報を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
null	(任意) ノル隣接情報を表示します。
punt	(任意) パント隣接情報を表示します。
remote	(任意) リモート隣接情報を表示します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6 adjacency hardware** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 adjacency hardware egress

Display protocol is ipv6
Interface      Address                                     Type      Refcount
-----
Te0/0/0/9                                           special 2
                Interface: Te0/0/0/9 Type: glean
                Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x220 (0x8a796038)
                Nhinfo PT: 0x8a796038, Idb PT: 0x8a3e09a0, If Handle: 0x8000088
                Dependent adj type: remote (0x8c34c238)
                Dependent adj intf: Te0/0/0/9
                Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:43:23.354

Show-data Print at RPLC

RX H/W Result on NP:10 [Adj ptr:0x40 (BE)]:
Rx-Adj is NOT required on this platform

TX H/W Result for NP:10 (index: 0x186ac (BE)):
```

```
Next Hop Data
Next Hop Valid:      YES
Next Hop Index:     100012
Egress Next Hop IF: 100012
Hw Next Hop Intf:   0
HW Port:            0
Next Hop Flags:     DISCARD PUNT
Next Hop MAC:       0000.0000.0000

Te0/0/0/9 Prefix: 9::2/128                               local  3
Adjacency: PT:0x88155c18 9::2/128
Interface: Te0/0/0/9
NHID: 0x0
MAC: 10.f3.11.25.39.5b.28.c7.ce.01.ec.20.86.dd
Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8c39e238)
Nhinfo PT: 0x8c39e238, Idb PT: 0x8a3e09a0, If Handle: 0x8000088
Dependent adj type: remote (0x8c34c238)
Dependent adj intf: Te0/0/0/9
Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:44:49.548

Show-data Print at RPLC

TX H/W Result for NP:0 (index: 0x186bd (BE)):
```

```
Next Hop Data
Next Hop Valid:      YES
Next Hop Index:     100029
Egress Next Hop IF: 100028
Hw Next Hop Intf:   15
HW Port:            10
```

show cef ipv6 adjacency hardware

```
Next Hop Flags:      COMPLETE
Next Hop MAC:        10f3.1125.395b
```

```
NHINDEX H/W Result for NP:0 (index: 0 (BE)):
NhIndex is NOT required on this platform
```

```
NHINDEX STATS: pkts 0, bytes 0 (all NPs combined, no stats)
```

```
RX H/W Result on NP:0 [Adj ptr:0x40 (BE)]:
Rx-Adj is NOT required on this platform
```

```
Te0/0/0/9    Prefix: fe80::12f3:11ff:fe25:395b/128      local  3
Adjacency: PT:0x881559c8 fe80::12f3:11ff:fe25:395b/128
Interface: Te0/0/0/9
NHID: 0x0
MAC: 10.f3.11.25.39.5b.28.c7.ce.01.ec.20.86.dd
Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8c39e568)
Nhinfo PT: 0x8c39e568, Idb PT: 0x8a3e09a0, If Handle: 0x8000088
Dependent adj type: remote (0x8c34c238)
Dependent adj intf: Te0/0/0/9
Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 19 06:44:59.554
```

```
Show-data Print at RPLC
```

```
TX H/W Result for NP:0 (index: 0x186bf (BE)):
```

```
Next Hop Data
Next Hop Valid:      YES
Next Hop Index:      100031
Egress Next Hop IF:  100030
Hw Next Hop Intf:    15
HW Port:             10
Next Hop Flags:      COMPLETE
Next Hop MAC:        10f3.1125.395b
```

```
NHINDEX H/W Result for NP:0 (index: 0 (BE)):
NhIndex is NOT required on this platform
```

```
NHINDEX STATS: pkts 0, bytes 0 (all NPs combined, no stats)
```

```
RX H/W Result on NP:0 [Adj ptr:0x40 (BE)]:
Rx-Adj is NOT required on this platform
```


show cef ipv6 drops

IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブル パケット ドロップ カウンタを表示するには、で **show cef ipv6 drops** コマンドを使用します。

show cefipv6 drops [location node-id]

構文の説明

location*node-id* (任意) 指定されたノードの IPv6 CEF テーブル パケット ドロップ カウンタを表示します。*node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

CEF エントリが解決されていない、機能がサポートされていない、ルート情報がない、隣接情報がない、または IP チェックサム エラーが発生したために、パケットが IPv6 CEF テーブルによりドロップされた可能性があります。

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、すべてのノードのパケットドロップが表示されます。



(注) ハードウェア転送がルート プロセッサ (RP) で発生していないため、そのノードのパケットドロップ情報は表示されません。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6 drops** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 drops location 0/RP0/CPU0

CEF Drop Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
  Unresolved drops      packets :      0
  Unsupported drops     packets :      0
  Null0 drops           packets :      0
  No route drops        packets :      0
  No Adjacency drops   packets :      0
  Checksum error drops  packets :      0
  RPF drops             packets :      0
  RPF suppressed drops  packets :      0
  RP destined drops     packets :      0
  Discard drops         packets :      0
  GRE lookup drops      packets :      0
  GRE processing drops  packets :      0
  LISP punt drops       packets :      0
  LISP encap err drops  packets :      0
  LISP decap err drops  packets :      0
```

表 11 : **show cef ipv6 drops** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Unresolved drops	未解決ルートによるドロップ
Unsupported drops	サポートされていない機能によるドロップ
Null0 drops	Null0 インターフェイスへのドロップ
No route drops	宛先へのルートがなかったためにドロップされたパケット数
No Adjacency drops	隣接が確立されていなかったためにドロップされたパケット数
Checksum error drops	IPv6 チェックサム エラーによるドロップ
RPF drops	IPv6 ユニキャスト RPF ⁴ に起因するドロップ。
RPF suppressed drops	IPv6 ユニキャスト RPF により抑制されたドロップ
RP destined drops	ルータへのドロップ
Discard drops	破棄されたドロップ

フィールド	説明
GRE lookup drops	GRE ルックアップ中にドロップされた GRE パケット。
GRE processing drops	GRE の処理中にドロップされた GRE パケット。
LISP punt drops	パケットのソフトウェア処理中にドロップされた LISP パケット。
LISP encap err drops	エラーのためにドロップされた LISP カプセル化パケット。
LISP decap err drops	エラーのためにドロップされた LISP カプセル化解除パケット。

⁴ RPF = リバース パス フォワーディング

show cef ipv6 exact-route

送信元および宛先アドレスから成る IPv6 フローが通過するパスを表示するには、で **show cefipv6 exact-route** コマンドを使用します。

```
show cefipv6 exact-route {source-address destination-address} [protocol protocol
name] [source-port source-port] [destination-port destination-port] [ingress-interface type
interface-path-id] [policy-class value] [detail | location node-id]
```

構文の説明

<i>source-address</i>	x::x フォーマットの IPv6 送信元アドレス。
<i>destination-address</i>	x::x フォーマットの IPv6 宛先アドレス。
protocol <i>protocolname</i>	(任意) 指定したルートのプロトコルを表示します。
source-port <i>source-port</i>	(任意) UDP 送信元ポートを設定します。範囲は 0 ~ 65535 です。
destination-port <i>destination-port</i>	(任意) UDP 宛先ポートを設定します。範囲は 0 ~ 65535 です。
ingress-interface	(任意) 入力インターフェイスを設定します。
<i>type</i>	(任意) インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。

<i>interface-path-id</i>	物理インターフェイスまたは仮想インターフェイス。 (注) ルータに現在設定されているすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 show interfaces コマンドを使用します。 ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンラインヘルプを参照してください。
<i>policy-classvalue</i>	(任意) ポリシーベースのトンネル選択のクラスを表示します。トンネル ポリシー クラスの値の範囲は 1 ~ 7 です。
detail	(任意) CEF エントリの詳細情報を表示します。
<i>locationnode-id</i>	(任意) 指定されたノードの IPv6 CEF テーブルを表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン レイヤ 4 情報がイネーブルの場合、*source-port*、*destination-port*、*protocol* および *ingress-interface* フィールドは必須です。これらのフィールドを指定しない場合、**show cef ipv6 exact-route** コマンドは正確な結果を出力しません。

タスク ID

タスク ID

動作

cef

読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6 exact-route** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 exact-route 222::2 9999::6751 location
```

```
0/RP0/CPU0 source address: 222::2 destination address: 9999::6751  
interface : tenGigE 0/0/0/3 non local interface
```

show cef ipv6 exceptions

IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) 例外パケット カウンタを表示するには、**show cef ipv6 exceptions** コマンドを使用します。

show cef ipv6 exceptions [location node-id]

構文の説明

location*node-id* (任意) 指定されたノードの IPv6 CEF 例外パケット カウンタを表示します。*node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

CEF 例外パケットは、追加の処理が必要なためにハードウェアからソフトウェアに送信されたパケットです。IPv6 CEF 例外パケットのタイプは、**show cef ipv6 exceptions** の出力に表示されます。

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、すべてのノードの IPv6 CEF 例外パケット カウンタが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6 exceptions** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 exceptions location 0/RP0/CPU0
CEF Exception Statistics
Node: 0/RP0/CPU0
```

show cef ipv6 exceptions

```

Slow encap packets :          0
Unsupported packets :        0
Redirect packets :           0
Receive packets :           0
Broadcast packets :          0
IP options packets :         0
TTL expired packets :        0
Fragmented packets :         0

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 12 : *show cef ipv6 exceptions* コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Slow encap	カプセル化中に特殊な処理を必要とするパケット数
Redirect	送信された ICMP ⁵ リダイレクトメッセージの数。
Receive	ルータに送信されるパケット数
Broadcast	受信したブロードキャスト数。
IP options	IP オプションパケット数
TTL expired	TTL ⁶ が期限切れのパケットの数。
Fragmented	フラグメントされたパケット数

⁵ ICMP = インターネット制御メッセージプロトコル

⁶ TTL = 存続可能時間

show cef ipv6 hardware

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv6 ハードウェア ステータスおよび設定情報を表示するには、で **show cef ipv6 hardware** コマンドを使用します。

show cef ipv6 hardware {egress| ingress [detail| location node-id]}

構文の説明

egress	出力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
ingress	入力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
detail	(任意) 詳細情報を表示します。
locationnode-id	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6 hardware** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 hardware egress detail
```

```
::/0, version 0, proxy default, default route handler, drop adjacency, internal
Prefix Len 0, traffic index 0, precedence routine (0)
gateway array (0x0) reference count 1, flags 0x4000, source 4,
      [0 type 3 flags 0x109000 (0x7895114c) ext 0x0 (0x0)]
LW-LDI[type=3, refc=1, ptr=0x78a7d0dc, sh-ldi=0x7895114c]
via point2point, 0 dependencies, weight 0, class 0
  next hop point2point
  drop adjacency

Load distribution: 0 (refcount 0)

Hash OK Interface Address
0 Y Unknown drop
ff02::/16, version 0, receive
Prefix Len 16
ff02::2/128, version 0, receive
Prefix Len 128
ff02::1:ff00:0/104, version 0, receive
Prefix Len 104
```

show cef ipv6 interface

インターフェイスの IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) の関連情報を表示するには、`show cef ipv6 interface` コマンドを使用します。

show cef ipv6 interface *type interface-path-id* [**detail**] [**location node-id**][**rpf-drop**]

構文の説明

<i>type</i>	インターフェイスタイプ。詳細については、疑問符 (?) オンラインヘルプ機能を使用します。
<i>interface-path-id</i>	物理インターフェイスまたは仮想インターフェイス。 (注) ルータに現在設定されているすべてのインターフェイスのリストを表示するには、 show interfaces コマンドを使用します。 ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンラインヘルプを参照してください。
detail	(任意) コマンドが発行されるノードのすべてのインターフェイスに関する CEF 詳細情報を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) インターフェイスの IPv4 CEF 関連情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
rpf-drop	(任意) IPv6 ユニキャスト RPF によるドロップに関する情報を表示します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合、**show cef ipv6 interface** コマンドは、ルートプロセッサのインターフェイスの CEF 関連情報を表示します。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6 interface** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 interface

fib_show_interface
created item name: 1000/protocol/1/vrf/default/interface-info/1/
Bundle-Ether5.2 is down if_handle 0x0800002c if_type IFT_VLAN_SUBIF(0x19)
  idb info 0x898ecfa0 flags 0x48001 ext 0x8c38b488 flags 0x10
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 15, 2015 16:15:28, modify
  Reference count 1 Next-Hop Count 0
  Forwarding is disabled
  ICMP redirects are never sent
  ICMP unreachablees are enabled
  Protocol MTU 9202, TableId 0xe0800000(0x8a1ce6c8)
  Protocol Reference count 1
  Primary IPV6 local address NOT PRESENT
Bundle-Ether5.1 is down if_handle 0x08000024 if_type IFT_VLAN_SUBIF(0x19)
  idb info 0x898ecf20 flags 0x48001 ext 0x8c38b338 flags 0x10
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 15, 2015 16:15:28, modify
  Reference count 1 Next-Hop Count 0
  Forwarding is disabled
  ICMP redirects are never sent
  ICMP unreachablees are enabled
  Protocol MTU 9202, TableId 0xe0800000(0x8a1ce6c8)
  Protocol Reference count 1
  Primary IPV6 local address NOT PRESENT
Loopback0 is up if_handle 0x0800001c if_type IFT_LOOPBACK(0x10)
  idb info 0x898ecda0 flags 0x8061 ext 0x0
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 14, 2015 17:24:58, modify
  Interface is marked as point to point interface
  Interface is marked as loopback interface
  Reference count 1 Next-Hop Count 0
  Protocol Reference count 0
  Protocol ipv6 not configured or enabled on this card
  Primary IPV6 local address NOT PRESENT
Bundle-Ether5 is down if_handle 0x08000014 if_type IFT_ETHERBUNDLE(0x1c)
  idb info 0x898ecd20 flags 0x48001 ext 0x8c38b1e8 flags 0x10
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 15, 2015 16:15:28, modify
  Reference count 1 Next-Hop Count 0
  Forwarding is disabled
  ICMP redirects are never sent
  ICMP unreachablees are enabled
  Protocol MTU 9202, TableId 0xe0800000(0x8a1ce6c8)
  Protocol Reference count 1
  Primary IPV6 local address NOT PRESENT
TenGigE0/0/0/79 is down if_handle 0x080002b8 if_type IFT_TENGETHERNET(0x1e)
  idb info 0x898ecca0 flags 0x8001 ext 0x0
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 14, 2015 17:24:58, modify
  Reference count 1 Next-Hop Count 0
  Protocol Reference count 0
  Protocol ipv6 not configured or enabled on this card
  Primary IPV6 local address NOT PRESENT
TenGigE0/0/0/78 is down if_handle 0x080002b0 if_type IFT_TENGETHERNET(0x1e)
```

```
idb info 0x898ecc20 flags 0x8001 ext 0x0
Vrf Local Info (0x0)
Interface last modified Dec 14, 2015 17:24:58, modify
Reference count 1 Next-Hop Count 0
Protocol Reference count 0
Protocol ipv6 not configured or enabled on this card
Primary IPV6 local address NOT PRESENT
TenGigE0/0/0/77 is down if handle 0x080002a8 if_type IFT_TENGETHERNET(0x1e)
idb info 0x898ecba0 flags 0x8001 ext 0x0
Vrf Local Info (0x0)
Interface last modified Dec 14, 2015 17:24:58, modify
Reference count 1 Next-Hop Count 0
Protocol Reference count 0
Protocol ipv6 not configured or enabled on this card
Primary IPV6 local address NOT PRESENT
```

show cef ipv6 resource

IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルの IPv6 非再帰的プレフィックス エントリを表示するには、`show cef ipv6 resource` コマンドを使用します。

`show cef ipv6 resource [detail] [hardware {egress|ingress}] [location node-id]`

構文の説明

detail	(任意) IPv6 CEF テーブルにリストされているリソースの詳細情報を表示します。
hardware	(任意) シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv6 ハードウェア ステータスおよび設定情報を表示します。
egress	(任意) 出力パケットスイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
ingress	(任意) 入力パケットスイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
location node-id	(任意) 指定されたノードの IPv6 CEF テーブルの IPv6 リソース エントリを表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの IPv6 CEF 非再帰的ルートが表示されます。

タスク ID	タスク ID	動作
	cef	読み取り

例

次の例は、**show cef ipv6 resource** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 resource
CEF resource availability summary state: GREEN
  ipv4 shared memory resource: GREEN
  ipv6 shared memory resource: GREEN
  mpls shared memory resource: GREEN
  common shared memory resource: GREEN
  TABLE hardware resource: GREEN
  LEAF hardware resource: GREEN
  LOADINFO hardware resource: GREEN
  NHINFO hardware resource: GREEN
  LABEL_INFO hardware resource: GREEN
  IDB hardware resource: GREEN
  FRR_NHINFO hardware resource: GREEN
  LDSH_ARRAY hardware resource: GREEN
  RSRC_MON hardware resource: GREEN
```

show cef ipv6 summary

IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルのサマリーを表示するには、で **show cef ipv6 summary** コマンドを使用します。

show cef ipv6 summary [location node-id]

構文の説明

location node-id (任意) 指定されたノードの IPv6 CEF テーブルのサマリー情報を表示します。 *node-id* 引数は、*rack/slot/module* の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの IPv6 CEF テーブルのサマリーが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**showcefipv6summary** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 summary
IP CEF with switching (Table Version 0)
Load balancing: L3
Tableid 0xe0800000, Vrfid 0x60000000, Vrid 0x20000000, Flags 0x301
Vrfname default, Refcount 12
4 routes, 0 reresolve, 0 unresolved (0 old, 0 new), 288 bytes
```



```

0 load sharing elements, 0 bytes, 0 references
0 shared load sharing elements, 0 bytes
0 exclusive load sharing elements, 0 bytes
0 CEF route update drops, 0 revisions of existing leaves
Resolution Timer: 15s
0 prefixes modified in place
0 deleted stale prefixes
0 prefixes with label imposition, 0 prefixes with label information
Adjacency Table has 44 adjacencies
  1 incomplete adjacency

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 13 : **show cef ipv6 summary** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Load balancing	現在のロードバランシングモード。デフォルト値は L3 です。
Table Version	CEF テーブルのバージョン。
routes	ルートの合計数。
unresolved (x old, x new)	未解決のルートの合計数。
load sharing elements	内部ロードシェアリングデータ構造の合計数。
bytes	内部ロードシェアリングデータ構造で使われる合計メモリ。
references	すべての内部ロードシェアリングデータ構造の合計リファレンス カウント数。
CEF resets	CEF テーブル リセット数。
revisions of existing leaves	既存のプレフィックスへの更新数。
Exponential (currently xs, peak xs)	現在使用されていません。
prefixes modified in place	正しく修正されたプレフィックス。
Router ID	ルータ ID
Adjacency Table has x adjacencies	合計隣接数。
x incomplete adjacency	未完了の隣接の合計数。

show cef ipv6 unresolved

IPv6 シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルの未解決ルートを表示するには、`show cef ipv6 unresolved` コマンドを使用します。

`show cef ipv6 unresolved [detail] [hardware {egress| ingress}] [location node-id]`

構文の説明

detail	(任意) 詳細情報を表示します。
hardware	(任意) シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) IPv6 ハードウェア ステータスおよび設定情報を表示します。
egress	出力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
ingress	入力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
location node-id	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、コマンドが発行されるノードの未解決ルートが表示されます。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、未解決ルートを検出する場合の **show cef ipv6 unresolved** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef ipv6 unresolved
```

```
9999::/64  
  unresolved
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 14 : **show cef ipv6 unresolved** コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
xxxx::/xx	検出された未解決ルート

show cef mpls adjacency

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) 隣接関係テーブルを表示するには、で **show cef mpls adjacency** コマンドを使用します。

show cef mpls adjacency [*interface-type interface-path-id*] [**detail** | **discard** | **drop** | **glean** | **null** | **punt** | **remote**] [**location** *node-id*]

構文の説明

<i>interface-type</i>	(任意) インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ機能を使用します。
<i>interface-path-id</i>	(任意) 物理インターフェイスインスタンスまたは仮想インターフェイスインスタンスのいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> 物理インターフェイス インスタンス。命名規則は、<i>rack/slot/module/port</i> です。値と値の間には、表記の一部としてスラッシュ マークが必須です。 <ul style="list-style-type: none"> ° <i>rack</i> : ラックのシャーシ番号。 ° <i>slot</i> : ラインカードの物理スロット番号。 ° <i>module</i> : モジュール番号。物理層インターフェイス モジュール (PLIM) は、常に 0 です。 ° <i>port</i> : インターフェイスの物理ポート番号。 (注) ルートプロセッサカード上の管理イーサネットインターフェイスを参照する場合、物理スロット番号は英数字 (RSP0) であり、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RSP0 /CPU0/0 仮想インターフェイスインスタンス。数字の範囲は、インターフェイスタイプによって異なります。 <p>ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンライン ヘルプを参照してください。</p>
detail	(任意) 詳細情報を表示します。
discard	(任意) 廃棄隣接情報を表示します。
drop	(任意) ドロップ隣接情報を表示します。
glean	(任意) glean 隣接情報を表示します。
null	(任意) nul隣接情報を表示します。

punt	(任意) パント隣接情報を表示します。
remote	(任意) リモート隣接情報を表示します。
locationnode-id	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード XR EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **location** キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合は、**show cef mpls adjacency** をコマンドを発行したノードの MPLS 隣接関係テーブルが表示されます。

タスク ID	タスク ID	動作
	cef	読み取り

例 次の例は、**show cef mpls adjacency** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef mpls adjacency hardware egress

Display protocol is mpls
Interface      Address                                     Type      Refcount
-----
Te0/0/0/11    Prefix: 79.0.0.2/32                       local     5
               Adjacency: PT:0x894d40c0 79.0.0.2/32
               Interface: Te0/0/0/11
               NHID: 0x0
               MAC: 6c.9c.ed.28.8b.71.28.c7.ce.01.f0.4f.88.47
               Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8bec8230)
               Nhinfo PT: 0x8bec8230, Idb PT: 0x899f6a20, If Handle: 0x8000090
               Dependent adj type: remote (0x8be85230)
               Dependent adj intf: Te0/0/0/11
               Ancestor If Handle: 0x0
Update time   Dec 17 09:44:45.779
```

show cef mpls adjacency

```
Show-data Print at RPLC
```

```
TX H/W Result for NP:0 (index: 0x186bc (BE)):
```

```
Next Hop Data
Next Hop Valid:      YES
Next Hop Index:     100028
Egress Next Hop IF: 100028
Hw Next Hop Intf:   17
HW Port:            12
Next Hop Flags:     COMPLETE
Next Hop MAC:       6c9c.ed28.8b71
```

```
NHINDEX H/W Result for NP:0 (index: 0 (BE)):
NhIndex is NOT required on this platform
```

```
NHINDEX STATS: pkts 0, bytes 0 (no stats)
```

```
RX H/W Result on NP:0 [Adj ptr:0x40 (BE)]:
Rx-Adj is NOT required on this platform
```

show cef mpls adjacency hardware

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) 隣接ハードウェア ステータスと設定情報を表示するには、で **show cef mpls adjacency hardware** コマンドを使用します。

show cef mpls adjacency hardware {egress| ingress} [detail| discard| drop| glean| location *node-id*] null| punt| remote]

構文の説明

egress	出力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
ingress	入力パケット スイッチ交換 (PSE) ファイルから情報を表示します。
detail	(任意) 詳細情報を表示します。
discard	(任意) 廃棄隣接情報を表示します。
drop	(任意) ドロップ隣接情報を表示します。
glean	(任意) glean 隣接情報を表示します。
location <i>node-id</i>	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
null	(任意) ヌル隣接情報を表示します。
punt	(任意) パント隣接情報を表示します。
remote	(任意) リモート隣接情報を表示します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

XR EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID

動作

cef

読み取り

例

次の例は、**show cef mpls adjacency hardware** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef mpls adjacency hardware egress
```

```
Display protocol is mpls
Interface      Address                                     Type      Refcount
-----
Te0/0/0/11    Prefix: 79.0.0.2/32                       local     5
              Adjacency: PT:0x894d40c0 79.0.0.2/32
              Interface: Te0/0/0/11
              NHID: 0x0
              MAC: 6c.9c.ed.28.8b.71.28.c7.ce.01.f0.4f.88.47
              Interface Type: 0x1e, Base Flags: 0x1 (0x8bec8230)
              Nhinfo PT: 0x8bec8230, Idb PT: 0x899f6a20, If Handle: 0x8000090
              Dependent adj type: remote (0x8be85230)
              Dependent adj intf: Te0/0/0/11
              Ancestor If Handle: 0x0
Update time Dec 17 09:44:45.779
```

```
Show-data Print at RPLC
```

```
TX H/W Result for NP:0 (index: 0x186bc (BE)):
```

```
Next Hop Data
Next Hop Valid:      YES
Next Hop Index:     100028
Egress Next Hop IF: 100028
Hw Next Hop Intf:   17
HW Port:            12
Next Hop Flags:     COMPLETE
Next Hop MAC:       6c9c.ed28.8b71
```

```
NHINDEX H/W Result for NP:0 (index: 0 (BE)):
NhIndex is NOT required on this platform
```

```
NHINDEX STATS: pkts 0, bytes 0 (no stats)
```

```
RX H/W Result on NP:0 [Adj ptr:0x40 (BE)]:
Rx-Adj is NOT required on this platform
```


show cef mpls interface

インターフェイスのマルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) の関連情報を表示するには、`show cef mpls interface` コマンドを使用します。

`show cef mpls interface type interface-path-id [detail] [location node-id]`

構文の説明

type インターフェイス タイプ。詳細については、疑問符 (?) オンライン ヘルプ 機能を使用します。

interface-path-id 次に示す、物理インターフェイス インスタンスまたは仮想インターフェイス インスタンスのいずれかです。

- 物理インターフェイス インスタンス。名前表記は `rack/slot/module/port` です。値の間に表記の一部としてスラッシュが必要です。

- `rack` : ラックのシャーシ番号。

- `slot` : モジュラ サービス カードまたはラインカードの物理スロット番号。

- `module` : モジュール番号。物理層インターフェイスモジュール (PLIM) は、常に 0 です。

- `port` : インターフェイスの物理ポート番号。

(注) ルートプロセッサ カード上の管理イーサネット インターフェイスを参照する場合、物理スロット番号は英数字 (RSP0) であり、モジュールは CPU0 です。例: インターフェイス MgmtEth0/RSP0

- 仮想インターフェイス インスタンス。数字の範囲は、インターフェイス タイプによって異なります。

ルータの構文の詳細については、疑問符 (?) を使用してオンライン ヘルプを参照してください。

detail (任意) コマンドが発行されるノードのすべてのインターフェイスに関する CEF 詳細情報を表示します。

location node-id (任意) インターフェイスの IPv4 CEF 関連情報を表示します。 `node-id` 引数は、`rack/slot/module` の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

location キーワードと *node-id* 引数でノードを指定しない場合、**show cef mpls interface** コマンドは、ルートプロセッサのインターフェイスの CEF 関連情報を表示します。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef mpls interface** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef mpls interface
fib_show_interface
Loopback0 is up if_handle 0x08000014 if_type IFT_LOOPBACK(0x10)
  idb info 0x899f78a0 flags 0x8061 ext 0x0
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 17, 2015 09:42:15, create
  Interface is marked as point to point interface
  Interface is marked as loopback interface
  Reference count 1      Next-Hop Count 0
  Protocol Reference count 0
  Protocol mpls not configured or enabled on this card
mpls v6 item name: 1000/protocol/1/vrf/default/interface-info/2/8000090
TenGigE0/0/0/11 is up if_handle 0x08000090 if_type IFT_TENGETHERNET(0x1e)
  idb info 0x899f6a20 flags 0x8001 ext 0x8bf0b098 flags 0x50
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 17, 2015 09:42:12, create
  Reference count 1      Next-Hop Count 2
  Forwarding is enabled
  Protocol MTU 1500, TableId 0(0x8a287098)
  Protocol Reference count 2
TenGigE0/0/0/1 is up if_handle 0x08000040 if_type IFT_TENGETHERNET(0x1e)
  idb info 0x899f6520 flags 0x8001 ext 0x0
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 17, 2015 09:42:12, create
  Reference count 1      Next-Hop Count 0
  Protocol Reference count 0
  Protocol mpls not configured or enabled on this card
Null0 is up if_handle 0x0800000c if_type IFT_NULL(0x11)
  idb info 0x899f61a0 flags 0x8061 ext 0x0
  Vrf Local Info (0x0)
  Interface last modified Dec 17, 2015 09:41:51, create
  Interface is marked as point to point interface
  Interface is marked as nullidb
```

```
Reference count 1      Next-Hop Count 0
Protocol Reference count 0
Protocol mpls not configured or enabled on this card
FINT0/RP0/CPU0 is up if_handle 0x08000010 if_type IFT_FINT_INTF(0x1b)
  idb info 0x899f6120 flags 0x8021 ext 0x0
  Vrf Local Info (0x0)
Interface last modified Dec 17, 2015 09:41:51, create
Interface is marked as point to point interface
Reference count 1      Next-Hop Count 0
Protocol Reference count 0
Protocol mpls not configured or enabled on this card
```

show cef mpls unresolved

マルチプロトコル ラベル スイッチング (MPLS) 未解決ルートを表示するには、で **show cef mpls unresolved** コマンドを使用します。

show cef mpls unresolved [detail] [location node-id]

構文の説明

detail	(任意) レイヤ 2 情報など、隣接の詳細情報を表示します。
location node-id	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。

コマンド デフォルト

デフォルトの動作または値はありません。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef mpls unresolved** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef mpls unresolved
```

```
Label/EOS           Next Hop           Interface
20001/0
20001/1
```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 15 : *show cef mpls unresolved* コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Label/EOS	MPLS 転送ラベル/End of Stack (EOS) ビット
Next Hop	プレフィックスのネクスト ホップ
Interface	プレフィックスに関連付けられているインターフェイス

show cef summary

シスコ エクスプレス フォワーディング (CEF) テーブルのサマリー情報を表示するには、**show cef summary** コマンドを使用します。

show cef summary [**location** {*node-id*} **all**]

構文の説明

location <i>node-id</i>	(任意) 指定したノードの詳細な CEF 情報を表示します。 <i>node-id</i> 引数は、 <i>rack/slot/module</i> の形式で入力します。
all	(任意) すべてのロケーションを表示します。

コマンド デフォルト

show cef summary コマンドでは、IPv4 CEF テーブルとアクティブな RP ノードはロケーションと見なされます。

コマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
リリース 6.0	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドの使用に影響する特定のガイドラインはありません。

タスク ID

タスク ID	動作
cef	読み取り

例

次の例は、**show cef summary** コマンドの出力を示しています。

```
RP/0/# show cef summary location 0/RP0/CPU0
Router ID is 10.1.1.1
IP CEF with switching (Table Version 0) for node0_1_CPU0
```

```

Load balancing: L3
Tableid 0xe0000000, Vrfid 0x60000000, Vrid 0x20000000, Flags 0x301
Vrfname default, Refcount 318
170 routes, 0 reresolve, 0 unresolved (0 old, 0 new), 12240 bytes
183 load sharing elements, 57292 bytes, 184 references
19 shared load sharing elements, 7036 bytes
164 exclusive load sharing elements, 50256 bytes
0 CEF route update drops, 10 revisions of existing leaves
Resolution Timer: 15s
0 prefixes modified in place
0 deleted stale prefixes
21 prefixes with label imposition, 60 prefixes with label information
Adjacency Table has 49 adjacencies
25 incomplete adjacencies

```

次の表で、この出力に表示される重要なフィールドを説明します。

表 16 : *show cef summary* コマンドのフィールドの説明

フィールド	説明
Load balancing	現在のロードバランシングモード。デフォルト値は L3 です。
Table Version	CEF テーブルのバージョン。
tableid	テーブル ID 番号。
vrfname	VRF 名。
flags	テーブルのオプション値。
ルート	ルートの合計数。
reresolve	再解決されるルートの合計数。
unresolved (x old, x new)	未解決のルートの合計数。
load sharing elements	内部ロードシェアリングデータ構造の合計数。
bytes	内部ロードシェアリング データ構造で使用される合計メモリ。
references	すべての内部ロードシェアリング データ構造の合計リファレンス カウント数。
CEF resets	CEF テーブル リセット数。
revisions of existing leaves	既存のプレフィックスへの更新数。
Exponential (currently xs, peak xs)	現在使用されていません。
prefixes modified in place	正しく修正されたプレフィックス。

フィールド	説明
Adjacency Table has x adjacencies	合計隣接数。
x incomplete adjacency	未完了の隣接の合計数。